**学会誌投稿規定**

**1 投稿資格**

会員は，フランス語教育およびフランコフォニー（フランスを含む）の言語，社会，文化などに関する原稿を本学会誌*Revue japonaise de didactique du français*に投稿することができる。この原稿は同時に他誌に投稿またはインターネット上で配信してはならない。また未刊行の原稿に限る。共著の場合は，筆頭著者が日本フランス語教育学会会員であれば，投稿することができる。また，国際フランス語教授連合アジア太平洋委員会傘下の各国教育学会に加盟の会員も投稿することができる。その場合，加盟団体の学会員であることの証明書を添付すること。なお，編集委員会は非会員に原稿委嘱を行うことができる。

**2 カテゴリー**

本誌に投稿できる原稿は，論文，研究ノート，実践報告，書評，出版物紹介，fiche pédagogique,各種報告，その他，とする。論文、研究ノートおよび実践報告は、学術委員によって匿名の査読を受ける。

論文

・先行研究を踏まえた独創性を有する実証的，または理論的研究の成果であること。

・他の研究者の検証にも耐えうる，客観性を有すること。

・学界への貢献となる，あらたな知見を有すること。

研究ノート

・まだ論文の形にまとまらないが，着想に独創性が認められるもの。

・他の研究者の検証にも耐えうる，客観性を有すること。

・学界への貢献となる，あらたな知見を有すること。

実践報告

・フランス語教育に関連の深い事象や教育実践についての記録や報告であり，新たな方法を導入し，明確な根拠および趣旨に基づき論じられており，他の研究者の検証にも耐えうるもの。

書評

・著書，論文集，参考書，CD-ROM，論文などをその長所と短所を明確になるように紹介し，それに評者の見解を加味したもの。

出版物紹介

・著書，論文集，参考書，CD-ROM，論文などを簡潔に紹介したもの。

Fiche pédagogique

・フランス語教育の実践例を具体的かつ簡潔に紹介したもので，読者が授業実践に応用できるようなもの。

各種報告

・内外の学会，スタージュの報告など。

**3 原稿の電子化掲載誌の贈呈**

掲載された原稿は電子化される。寄稿された原稿はインターネット上で公開することを了承したものと見なす。論文，研究ノート，実践報告の執筆者には1部を贈呈する。

**4 転載**

編集委員会は，本学会誌掲載の文章の中から適当なものを選び，国際的協力関係に基づいて，他の研究誌に転載することがある。当該原稿の（筆頭）著者が，その旨の通知を受けた折りに明確な形で異議を申し立てない限り，この他誌への転載を了承したものと見なされる。

**5 字数**

日本語原稿は，学会のホームページからダウンロードした「スタイルシート」を使用して，論文は17枚(20,000字)以内，研究ノート10枚(11,900字)以内，実践報告12枚(14,280字)以内，書評3枚(3,570字)以内，出版物紹介1枚(1,190字)以内，Fiche pédagogique 2枚（2,380字）以内，各種報告のうち学会・スタージュ報告3枚(3,570字)以内とする。

枚数にはレジュメや注，参照文献リスト，図表なども含む。原稿送付状は除く。枚数を遵守した原稿を送付すること。

フランス語原稿に関しては，「学会誌投稿規定」のフランス語版Règlement de publicationの中の，5 Nombre de signesを参照すること。

**6 使用言語**

原則として日本語またはフランス語。

**7 原稿締切**

論文，研究ノート，実践報告：１１月３０日（必着）

書評，出版物紹介，Fiche pédagogique，各種報告：３月１日

**8 宛先**

「スタイルシート」を使用してMicrosoft Wordで作成した電子テクストを，電子メールの添付ファイルでsjdf\_redaction@sjdf.orgへ送付すること。

**9 査読・採否など**

原稿の依頼，査読，採否の決定，カテゴリー，枚数の変更，その他の編集業務は，すべて編集委員会の責任でおこなう。

**10 執筆要項**

* 原稿の執筆には，「スタイルシート」を使用すること。スタイルシートは，以下の学会のホームページからダウンロードできる。

https://sjdf.org/publications/reglements-publication

* 論文および研究ノートには，執筆者を特定できるような情報（氏名，所属機関名など）は，「スタイルシート」の冒頭にある「原稿送付状」にのみ記し，原稿の他の部分には一切記載しない。査読者に対して執筆者の氏名や所属を公開しないこととするため，（注や参考文献を含む）原稿には，執筆者を推測し得るような記述を極力避けること。
* 論文および研究ノートには、学術委員から修正を求められた場合、学会誌編集委員会より、修正原稿のほかに修正箇所にかんする詳細な報告を求めることがある。編集委員会が掲載を決定した場合，執筆者による校正は初稿のみとする。校正の際の訂正は字句の誤りのみとし，本文の内容に変更を加えることは許されない。

・論文，研究ノート，実践報告には，フランス語及び（日本語など）フランス語以外の一言語でのレジュメとキーワードをつける。フランス語のレジュメは、200語以内とする。２つのレジュメは，それぞれその言語を母語とする者による校閲を経ていなければならない。

・本文中で参照した文献は本文のあとに，まとめてリストにし，リストのタイトルは，日本語論文については「参照文献」とする。「参照文献」には，本文と注の中で言及されている文献のみを記載する。

・フランス語原稿の書き方に関しては，「学会誌投稿規定」のフランス語版*Règlement de publication*の中の*10 Instructions aux auteurs*，およびフランス語版スタイルシートを参照すること。

日本フランス語教育学会学会誌編集委員会（2022年11月25日）